

# 第2次行財政改革プラン取組項目 総括表

大分県日出町

評価段階 A:計画以上 B:計画どおり C:やや下回る D:不十分

## 目次

### 1. 町民との協働の一層の推進

#### ア) 協働体制の充実

1. 町民との協働型行政の仕組みづくり …… P1

#### イ) 町民と協働のまちづくりの推進

2. ボランティアネットワークの充実 …… P1  
3. 実行委員会方式によるイベントの開催 …… P2

#### ウ) 新たな事業の展開

4. 地域コミュニティの強化 …… P2  
5. 新たな地域資源活用の推進 …… P3  
6. 新たな地産地消の推進 …… P3  
7. 新たな地域人材活用の推進 …… P4  
8. 人権教育・啓発の推進 …… P4

### 2. 情報の共有化による透明性の向上

#### ア) 情報提供の充実

9. 行政情報の積極的な発信 …… P5  
10. 職員の出前講座の推進 …… P5  
11. 町民相談窓口の整備 …… P5

#### イ) 情報公開の充実

12. パブリック・コメントの推進 …… P6

#### ウ) 委員公募の推進

13. 公募の推進と委員選考の見直し …… P6

### 3. 財政運営の健全化

#### ア) 事務事業の点検と見直し

14. 町単独の各種補助金・交付金の見直し …… P7  
15. 費用対効果に基づいた事務事業の見直し …… P7  
16. 事務機器・用品等の購入管理 …… P7  
17. 受益者負担の適正化及び使用料、手数料の見直し …… P8  
18. 教育施設における光熱水費節減の推進 …… P8  
19. 光熱水費節減及び消耗品等の効率的活用の更なる推進 …… P9  
20. 福祉施策の充実 …… P9  
21. 耕作放棄地対策の推進 …… P10  
22. 環境を大切にすまちづくりの推進 …… P10  
23. 健康を支える環境づくりの推進 …… P10

#### イ) 自主財源の確保

24. 使用料、手数料の見直し …… P11  
25. 資産の有効活用 …… P11  
26. 町税・料金収入などの更なる確保 …… P11

27. 下水道接続率向上の更なる推進 ..... P12

28. 公共施設運営・整備への経営視点の導入 ..... P12

#### ウ) 新たな財源の創設・確保

29. 企業誘致の積極的な推進 ..... P12

#### エ) 財政システムの見直し

30. 予算編成・査定制度の見直し ..... P13

### 4. 機能的で柔軟な組織・機構の確立

#### ア) 組織・機構などを見直し

31. 組織の再編・課・係の見直し ..... P13

32. 地域づくりの核となる施設への転換 ..... P14

33. 幼小中学校区の見直しと学校規模の適正化 ..... P14

34. 契約検査体制の検討 ..... P14

35. 豊岡地区の拠点施設の統合の検討 ..... P15

36. 窓口業務の見直し ..... P15

#### イ) 民間活力の有効活用

37. 給食運営のあり方の検討 ..... P15

38. 機能的な図書館業務の検討 ..... P16

39. 処理場・浄水場の維持管理委託の検討 ..... P16

40. 効率的な地籍調査業務の検討と活用 ..... P16

### 5. 定員管理と給与のあり方

#### ア) 定員管理の適正化

41. 「定員適正化計画」の策定・管理 ..... P17

#### イ) 適正な人員と職員配置

42. 職員の適正な配置 ..... P17

43. 非常勤・臨時職員の効果的な雇用 ..... P18

44. 職員給与のあり方の検討 ..... P18

45. 特別職の給料の検討 ..... P18

46. 時間外勤務の検討 ..... P19

### 6. 職員の意識改革と人材育成

#### ア) 求められる人材育成と能力開発

47. 人材育成基本方針の策定 ..... P19

48. 研修制度の充実 ..... P20

#### イ) 職員の意識改革

49. 職員提案制度の充実 ..... P20

50. 地域貢献活動への積極的参加 ..... P20

51. 町長などとのコミュニケーションの機会の設定 ..... P21

## 1. 町民との協働の一層の推進

### ア) 協働体制の充実

番号	1	区分	早期課題	所管課	政策推進課			
取組項目	・町民との協働型行政の仕組みづくり							
目標	・町民との協働型行政を推進するため基礎となる仕組みを構築する。							
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日出町まちづくりネットワークのあり方を見直した。</li> <li>・日出町協働指針策定委員会条例を制定し、日出町協働指針（案）を作成した。</li> </ul>							
今後の課題	・協働指針に基づく、まちづくりの実践							
総合評価	C	年度評価	22年度	B	23年度	B	24年度	C

### イ) 町民と協働のまちづくりの推進

番号	2	区分	早期課題	所管課	総務課・政策推進課・福祉対策課・生涯学習課など			
取組項目	・ボランティアネットワークの充実							
目標	・町民一人ひとりの自発的な意識を高め、関係機関・団体と連携を保ち、ボランティア組織の拡充と確立に努め、安心して暮らしていけるよう、福祉事業だけでなく広範な分野の団体等とのネットワーク化を進め、新たな支えあう体制整備の充実を図る。							
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織の活動の核となる地域防災リーダーを養成するために、地区を代表して防災士の資格を取得する者を募集し、資格取得に係る費用を全額補助した。また、防災訓練を通して、地域活動の活性化を図った。</li> <li>・まちづくりネットワーク実行委員会を開催し、組織の見直しを検討した。</li> <li>・日出町協働指針策定委員会条例を制定し、日出町協働指針（案）を作成した。</li> <li>・社会福祉団体との連携を図った。</li> </ul>							
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分野の異なる団体同士のネットワーク化</li> <li>・ネットワーク組織同士の情報交換と課題共有</li> </ul>							
総合評価	B	年度評価	22年度	C	23年度	B	24年度	B

番 号	3	区 分	中期課題	所 管 課	商工観光課・農林水産課・生涯学習課など			
取 組 項 目	・実行委員会方式によるイベントの開催							
目 標	・各種団体等が単に参加するにとどまっている行政主導型の実行委員会方式でなく、事業の運営もそれぞれの団体が専門性を発揮し適切な役割分担のもと町民ニーズに即した企画や運営を推進する。							
取 組 実 績	・ひじ産業まつり等において実行委員会を組織し、各種団体が専門性を活かした企画・運営を行った。							
今 後 の 課 題	・実行委員の構成組織による自主的な行事の組み立て							
総 合 評 価	B	年 度 評 価	22年度	B	23年度	B	24年度	B

#### ウ) 新たな事業の展開

番 号	4	区 分	早期課題	所 管 課	生涯学習課・政策推進課・総務課など			
取 組 項 目	・地域コミュニティの強化							
目 標	・これまでは地域住民がよく助け合って地域社会を形成していました。しかし、地域社会のさまざまな変化により、価値観の多様化、人間関係の希薄化などにより、地域社会が崩壊しつつあり、これらの不安を解消し、住みよい地域コミュニティを構築するため、更なる地域力の維持振興を図る。							
取 組 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区長を特別公務員とすることで地域と行政の連携強化を図った。</li> <li>・日出町協働指針策定委員会条例を制定し、日出町協働指針（案）を作成した。</li> <li>・地区公民館とふれあいセンターとの連携を図るため、センター職員に公民館事業や会議に参加させるなど意識付けを行なった。</li> </ul>							
今 後 の 課 題	・地域人材の発掘と育成							
総 合 評 価	B	年 度 評 価	22年度	C	23年度	C	24年度	B

番 号	5	区 分	中期課題	所 管 課	商工観光課・生涯学習課など			
取 組 項 目	・新たな地域資源活用の推進							
目 標	・日出城周辺整備事業を機に、行政と町民が一体となり、郷土の歴史・文化・自然などの魅力を見つめ直し、さらに磨き輝かせ、価値向上を図るとともに、見過ごされてきた眠る資源の再発見を行い、新たな地域資源の掘り起こしと活用で、特色ある町民主体のまちづくりを進める。							
取 組 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・裏門櫓や鬼門櫓、致道館の修復修理を実施し、現場見学会や夏休み子ども体験、企画展示等を実施した。</li> <li>・二の丸館や裏門櫓、鬼門櫓、的山荘などを活用した日出城址周辺の観光メニューを創出した。</li> <li>・日出町ウオーキング協会と二の丸館が発着となるウオーキングコースを作り、PRに努めた。</li> <li>・西嶮精舎の調査と整備を実施した。</li> </ul>							
今 後 の 課 題	・未指定文化財の調査・保存							
総 合 評 価	B	年 度 評 価	22年度	B	23年度	B	24年度	B

番 号	6	区 分	中期課題	所 管 課	農 林 水 産 課			
取 組 項 目	・新たな地産地消の推進							
目 標	・消費者の農海産物に対する安全志向の高まりや、生産者の販売の多様化の取組が進むなかで、「地産地消」活動が活発化している。地産地消をさらに推進することで、消費者と生産者が「顔が見え、話ができる」関係を強化し、第一次産業の活性化と農林水産業についての理解を深める機会を提供する。							
取 組 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町ホームページに朝市情報を掲載した。</li> <li>・町主催イベントで地元食材を使った料理を提供した。</li> <li>・鮮魚さばき所や農産物加工施設を新設し、地産地消の推進を図った。</li> <li>・給食に日出産の食材を使用し、食育に取り組んだ。</li> </ul>							
今 後 の 課 題	・新たな特産品の開発と情報発信の強化							
総 合 評 価	B	年 度 評 価	22年度	C	23年度	B	24年度	A

番 号	7	区 分	早期課題	所 管 課	学校教育課・生涯学習課			
取 組 項 目	・新たな地域人材活用の推進							
目 標	・未来を担う子どもたちの教育活動を充実させるため「地域の教育資源」の活用を進め、学校、保護者、地域が連携・協働し、地域人材を教育活動へ参加・参画できる仕組みを構築し、学校が抱える課題を解決するとともに、地域の教育力の向上と活性化を図る。							
取 組 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協育コーディネーターを選出し、組織づくりを行った。</li> <li>・小学校にゲストティーチャーを派遣し、帆足万里に関する学習を実施した。</li> <li>・授業や読み聞かせ、夏休み中の学力向上ステップアップ講座にボランティアを活用している。</li> <li>・学校・家庭・地域の協働ネットワークを構築するため、協育コーディネーターと校区ネットワーク会議を設置した。</li> </ul>							
今 後 の 課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域人材の発掘</li> <li>・コーディネーターを活用したネットワークの構築</li> </ul>							
総 合 評 価	B	年 度 評 価	22年度	C	23年度	B	24年度	B

番 号	8	区 分	早期課題	所 管 課	住民課・生涯学習課など			
取 組 項 目	・人権教育・啓発の推進							
目 標	・住民一人ひとりの人権が尊重しあえる社会を実現させるためには、人権教育・啓発の充実が不可欠であり、地域や学校、職域などにおいて、人権を尊重した豊かな人間関係づくりの取り組みを推進する。							
取 組 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区別推進組織を設置した。</li> <li>・全職員を対象として、DVDの視聴による研修を実施した。</li> <li>・企業や各種団体における人権教育・啓発に関する情報発信を行った。</li> <li>・「じんけん」だよりを作成し、班回覧により周知した。</li> <li>・人権フェスティバルや人権講座を開設するなど充実に努めた。</li> </ul>							
今 後 の 課 題	・情報発信の強化							
総 合 評 価	B	年 度 評 価	22年度	B	23年度	B	24年度	B

## 2. 情報の共有化による透明性の確保

### ア) 情報提供の充実

番号	9	区分	早期課題	所管課	関係課			
取組項目	・行政情報の積極的な発信							
目標	・行政に対する町民の信頼の確保と町民参加の一層の推進を図るため、様々な媒体により、行政情報を分かりやすく積極的に発信する。							
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回覧文書については町ホームページでも閲覧できるようにした。</li> <li>・FacebookやTwitterを開設し、情報発信を強化した。</li> <li>・移動町長室、町政ふれあい講座の充実に努めた。</li> <li>・広報「ひじ」をはじめ新聞やFMラジオ等の広報媒体を通じ、情報発信を行った。</li> <li>・工事発注情報の発信を開始した。</li> </ul>							
今後の課題	ホームページやFacebookの更なる活用							
総合評価	B	年度評価	22年度	B	23年度	B	24年度	B

番号	10	区分	早期課題	所管課	政策推進課			
取組項目	・職員の出前講座の推進							
目標	・町民が主催する学習会、集会等に、町民の求めに応じて職員を講師として派遣し、町政に関する情報を提供することで、町の仕事や将来について、共に学びあうことにより、行政をより身近なものにすることを旨とする。							
取組実績	・町政ふれあい講座を新設し、その充実に努めた。							
今後の課題	・講座内容の充実とPR							
総合評価	B	年度評価	22年度	B	23年度	B	24年度	B

番号	11	区分	早期課題	所管課	政策推進課			
取組項目	・町民相談窓口の整備							
目標	・町民生活の多様化に対応するため、町民の意見、相談事を職員が直接聞く窓口を設置する。関係機関との連携のもとで、行政、人権、生活などの相談窓口の充実を図るとともに、行政問題に限らず気軽に相談できる場を提供し、町民の不安解消に努める。							
取組実績	・総合相談窓口として「何でも相談室」を新設した。							
今後の課題	・職員の傾聴技術の向上							
総合評価	B	年度評価	22年度	B	23年度	B	24年度	B

イ) 情報公開の充実

番 号	12	区 分	早期課題	所 管 課	政策推進課			
取 組 項 目	・パブリック・コメントの推進							
目 標	・町民に直接影響のある事業計画などの策定にあたっては、趣旨、内容等を町民に公表し、要望や意見などを考慮して、最終的な決定に反映する。							
取 組 実 績	・各種事業計画を策定する際には、パブリック・コメントを実施している。							
今 後 の 課 題	・住民参画の推進							
総 合 評 価	B	年 度 評 価	22年度	D	23年度	B	24年度	B

ウ) 委員公募の推進

番 号	13	区 分	早期課題	所 管 課	総 務 課			
取 組 項 目	・公募の推進と委員選考の見直し							
目 標	・法、例規等で委員が特定されない審議会・委員会などの委員について、町民の皆様からの幅広い意見を反映させ、開かれた町政を推進するため、日出町男女共同参画推進条例により積極的に女性の登用も含め、町民より公募する。 なお、選考の方法については、これまでの「活動内容」及び「委員としての抱負」などを含め、公正と公平を基本として審議を行う。							
取 組 実 績	・毎年度、審議会・委員会等の状況を把握し、女性公募委員の拡充に努めた。							
今 後 の 課 題	・女性公募委員の拡充							
総 合 評 価	C	年 度 評 価	22年度	C	23年度	B	24年度	C

### 3. 財政運営の健全化

#### ア) 事務事業の点検と見直し

番号	14	区分	中期課題	所管課	関係課			
取組項目	・町単独の各種補助金・交付金の見直し							
目標	・補助金の一律削減ではなく必要性・成果等を含め根本的に見直す。特に奨励的補助金は、事業目的を見定め終期を設定し、補助目的を達成したものや、補助効果の薄くなった補助金等は積極的に縮小・廃止する。							
取組実績	・交付団体から収支報告書により現状の把握と検証を行い、補助金額の適正化等について指導等を行った。 ・大分県を単位とした各種補助金については、大分県町村会と同調し、必要性や成果を検証し一部削減合理化を行った。							
今後の課題	・各団体における既得権意識の払拭							
総合評価	B	年度評価	22年度	B	23年度	B	24年度	B

番号	15	区分	中期課題	所管課	関係課			
取組項目	・費用対効果に基づいた事務事業の見直し							
目標	・各種事業の必要性・効果など客観的に評価し、その結果に基づき、継続・改善・廃止等の事業見直しを行い、効率的・効果的な事業実施に努める。							
取組実績	・数値による費用対効果の検証が可能となる事務事業評価制度の検討を行った。 ・全庁を対象に業務棚卸を実施し、事務事業単位の見直しと総合計画体に基づく整理を行った。 ・国・県・町道の改良予定区間における上下水道の布設協議及び先行工事を実施するなど、効果的な工事を実施している。							
今後の課題	・事務事業評価の定着							
総合評価	B	年度評価	22年度	C	23年度	B	24年度	B

番号	16	区分	長期課題	所管課	会計課・財政課			
取組項目	・事務機器・用品等の購入管理							
目標	・事務消耗品の一括購入・一元管理を図り、備品については貸し出しにより全庁で利用でき重複購入などの無駄をはぶく。							
取組実績	・各課の備品台帳整備のための指導、検討を行った。 ・封筒等の一部事務用品について一括購入・一元管理を行った。							
今後の課題	・備品の一元管理							
総合評価	C	年度評価	22年度	C	23年度	B	24年度	B

番 号	17	区 分	早期課題	所 管 課	関 係 課			
取 組 項 目	・受益者負担の適正化及び使用料、手数料の見直し							
目 標	・住民負担の公平確保と受益者負担の適正化を図るよう定期的に見直しを行うとともに、受益者負担の原則に沿った減免範囲の適正化を検討する。							
取 組 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町営体育館等の使用料について、近隣市町村の状況から判断して減額見直しを行った。</li> <li>・予算編成に活用できる事務事業評価制度の検討を行った。</li> <li>・予算要求・査定時に検証を行った結果、他市町村との不均衡は無かった。</li> <li>・減免範囲については条例・規則に基づき、十分に精査確認している。</li> </ul>							
今 後 の 課 題	・定期的な調査と検証							
総 合 評 価	B	年 度 評 価	22年度	C	23年度	B	24年度	B

番 号	18	区 分	早期課題	所 管 課	教 育 総 務 課			
取 組 項 目	・教育施設における光熱水費節減の推進（フィフティ・フィフティ事業）							
目 標	・町立学校において、子ども達と教職員が協力して省エネルギー活動に取り組み、光熱水費（電気代、上下水道料）を節減できた学校について、節減した費用の2分の1に相当する金額を翌年度の予算として還元する。							
取 組 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長会、教頭会開催時に節水等の徹底を依頼した。</li> <li>・フィフティ・フィフティ事業については、PC等電子機器の導入や庁舎建替・耐震化、電気料金の高騰等により効果が見込まれる状況にないため実施しなかった。</li> </ul>							
今 後 の 課 題	・児童生徒への環境教育の推進							
総 合 評 価	C	年 度 評 価	22年度	B	23年度	B	24年度	B

番号	19	区分	早期課題	所管課	関係課			
取組項目	・光熱水費節減及び消耗品等の効率的活用の更なる推進							
目標	・役場庁舎をはじめとして各公共施設の光熱水費の節減に取り組む。また、太陽光発電システムの設置を検討し、デマンド（最高供給量）を下げることによって、基本料金が下がり、経費削減効果が得られる。また、コピー使用料、コピー用紙代、電話代、郵送料などについても無駄を省き節減に取り組む。							
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電システムを庁舎等に導入した。</li> <li>・クールビズの期間を設定し、実施した。</li> <li>・窓ガラスへの遮熱コーティング、グリーンカーテン、LED照明を導入した。</li> <li>・一斉点灯を避け、点灯時間をずらし、最高電力量を抑える等、節電対策を徹底した。</li> <li>・昼休み等の消灯や裏紙の利用に努めた。</li> <li>・夜間電力を有効利用するため、送水ポンプの起動を夜間にシフトさせた。</li> </ul>							
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペーパーレス化の促進</li> <li>・老朽設備の更新</li> </ul>							
総合評価	B	年度評価	22年度	B	23年度	B	24年度	B

番号	20	区分	中期課題	所管課	福祉対策課			
取組項目	・福祉施策の充実							
目標	・障害のある人の自立と社会参加を進めるとともに、新たな法案へ対応するための体制を整備します。また、子育て支援や高齢者の生きがいづくりの支援など、子どもから高齢者までが、共に助け合い支え合える地域福祉の向上を図り、健康で安心して暮らしていける地域社会を目指し、福祉関連の早期、中期、長期の方向を明確にする。							
取組実績	・各種福祉計画に沿った施策を推進した。							
今後の課題	・ニーズの把握と既存サービスの検証							
総合評価	B	年度評価	22年度	B	23年度	B	24年度	B

番 号	21	区 分	中期課題	所 管 課	農業委員会・農林水産課			
取 組 項 目	・耕作放棄地対策の推進							
目 標	・現在、日出町では多くの耕作放棄地が存在している。今後、更なる発生防止及び解消に向けて、活用事業対策を展開する。							
取 組 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国費等による耕作放棄地再生事業を実施した。</li> <li>・規模拡大志向者や新規参入希望者へ個別に情報提供を行った。</li> <li>・利用調整を行い、円滑化事業に取り組んだ。</li> </ul>							
今 後 の 課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地流動化における借り手と貸し手のマッチング</li> <li>・耕作放棄地に適した生産品目の選定</li> </ul>							
総 合 評 価	C	年 度 評 価	22年度	C	23年度	B	24年度	B

番 号	22	区 分	早期課題	所 管 課	生活環境課			
取 組 項 目	・環境を大切にすまちづくりの推進（エコ活動・ごみ減量など）							
目 標	・地球的規模で環境保全・資源保護が求められるなか、ごみの減量化への取組みとして、資源ごみのリサイクルや生ごみの堆肥化などを中心とした、町民が主体的に循環保護活動に取り組む環境づくりを進める。							
取 組 実 績	・生ゴミ処理機の普及促進や啓発などごみ減量化の推進を図った。							
今 後 の 課 題	・ごみ減量・エコ活動の普及啓発の強化							
総 合 評 価	C	年 度 評 価	22年度	A	23年度	B	24年度	B

番 号	23	区 分	早期課題	所 管 課	健康増進課			
取 組 項 目	・健康を支える環境づくりの推進（健診受診率向上など）							
目 標	・健康な生活を送るには生活習慣病予防や介護予防のため、町民一人ひとりが自ら運動や食生活、休養など生活習慣の改善並びに生きがいづくりを見いだすための支援を行う。また、早期発見・早期治療の観点から、健診（検診）受診率の向上を図るため、町民PRや効果的な健康情報の発信などにも努める。							
取 組 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康や介護予防のための教室を開催した。</li> <li>・特定健診の受診率、特定保健指導の実施率の向上を図った。</li> <li>・地域密着型介護サービス事業者に町独自で実地検査を実施した。</li> <li>・介護適正化ソフトを毎月利用して、給付の適正化を実施した。</li> </ul>							
今 後 の 課 題	・情報発信の強化							
総 合 評 価	B	年 度 評 価	22年度	B	23年度	B	24年度	B

イ) 自主財源の確保

番 号	24	区 分	長期課題	所 管 課	関 係 課			
取 組 項 目	・ 使用料、手数料の見直し							
目 標	・ 使用料、手数料などについて、原価主義を基本とした適正な料金を設定するとともに、定期的に調査研究し、必要により見直しを図り適正な収入確保に向けて取り組む。							
取 組 実 績	17. 受益者負担の適正化 と統合							
今 後 の 課 題								
総 合 評 価								

番 号	25	区 分	早期課題	所 管 課	財 政 課			
取 組 項 目	・ 資産の有効活用							
目 標	・ 町の保有する財産を資源として捉え、保有する必要性についても検討し、より有効かつ弾力的な利活用を図る。また、町有地のみならず遊休地などについても情報収集に努め、土地利用の拡大を目指す。							
取 組 実 績	・ 公有財産台帳システムを導入し、普通財産の売却や公有財産の有効利用を図った。							
今 後 の 課 題	・ 町有地の有効活用							
総 合 評 価	B	年 度 評 価	22年度	B	23年度	B	24年度	B

番 号	26	区 分	長期課題	所 管 課	税務課・都市建設課・上下水道課など			
取 組 項 目	・ 町税・料金収入などの更なる確保							
目 標	・ 滞納処分の強化・整理を図り、滞納繰越額の減少に努める。滞納は、財政を圧迫するだけでなく、適正に納めてもらっている町民との公平性を欠くことになるため、より一層の滞納整理の強化を行い、目標を定め収納率の向上に努める。							
取 組 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 給与及び預金差押を強化した。</li> <li>・ 夜間相談窓口や休日徴収を実施した。</li> <li>・ 口座振替推進キャンペーンを実施した。</li> <li>・ タイヤロックを導入した。</li> <li>・ 大口滞納者に対し停水予告通知を発送し、納入を促した。</li> </ul>							
今 後 の 課 題	・ インターネット公売等の検討							
総 合 評 価	B	年 度 評 価	22年度	B	23年度	B	24年度	B

番号	27	区分	長期課題	所管課	上下水道課			
取組項目	・下水道接続率向上の更なる推進							
目標	・下水道への接続率を向上させることは、整備した下水道施設を最大限に活用することとなり、公共用水域の環境面の保全が進むとともに使用料収入の増加による経営健全化にもつながるため、更に積極的な接続勧誘を行い、接続率向上を目指す。							
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未接続家庭訪問調査を実施した。</li> <li>・戸別訪問し、下水道への接続勧誘を行った。</li> </ul>							
今後の課題	・接続勧誘の継続							
総合評価	B	年度評価	22年度	C	23年度	B	24年度	B

番号	28	区分	長期課題	所管課	商工観光課・都市建設課・福祉対策課など			
取組項目	・公共施設運営・整備への経営視点の導入							
目標	・公共施設については、現在の施設の利用状況を的確に把握し、さらに積極的な利用促進を図り、民間活力導入も視野に入れ、広い視点に立った様々な手法の検討を行う。また、維持管理費などの費用対効果を考慮し整備を行うとともに、実施予定や完了日などの情報発信を積極的に行い、利活用を図る。							
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な修繕を実施するなど、利用者の利便性を図った。</li> <li>・的荘指定管理者が円滑な運営ができるよう、支援した。</li> <li>・道路改良工事等の情報を発信した。</li> </ul>							
今後の課題	・文化財保護と観光施設としての活用の両立							
総合評価	B	年度評価	22年度	B	23年度	B	24年度	B

#### ウ) 新たな財源の創設・確保

番号	29	区分	長期課題	所管課	商工観光課			
取組項目	・企業誘致の積極的な推進							
目標	・長引く景気低迷で厳しい状況ではあるが、新たな財源確保と活気あるまちづくりの実現のために積極的な企業誘致を進める。また起業者を支援する制度についても検討を行う。							
取組実績	・企業誘致のための適地の発掘、情報収集等を推進し、町内外への情報発信に努めた。							
今後の課題	・町有地への企業誘致							
総合評価	B	年度評価	22年度	B	23年度	B	24年度	B

## エ) 財政システムの見直し

番号	30	区分	早期課題	所管課	財政課			
取組項目	・ 予算編成・査定制度の見直し							
目標	・ 事務事業評価、外部評価制度の検討を行い、査定制度を見直すことによって、町民が夢を持ち、進んでまちづくりに参加できるような、町民満足度の高い予算編成に努める。							
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当初予算は枠配分による予算編成を廃止するなどの見直しを行った。</li> <li>・ 事務事業評価制度の導入に伴い、事務事業と予算事業の整合性を図った。</li> <li>・ 財務会計システムの移行に伴い、予算事務事業の総合計画体系化を行った。</li> </ul>							
今後の課題	・ 事務事業評価との連動							
総合評価	B	年度評価	22年度	C	23年度	B	24年度	B

## 4. 機能的で柔軟な組織・機構の確立

### ア) 組織・機構など見直し

番号	31	区分	長期課題	所管課	総務課・政策推進課			
取組項目	・ 組織の再編・課・係の見直し							
目標	・ 職員数の減少や地方分権に伴う事務量の増加に対応できる効率的で機能的な組織再編を目指すとともに、手続の簡素化等による町民負担の軽減を図り、町民も利用しやすい組織並びに事務の効率化の検討を行う。							
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務棚卸を実施し、その結果をもとに再編案を作成し協議を重ねた。</li> <li>・ 政策推進課・契約検査室を新設した。</li> </ul>							
今後の課題	・ 業務の見直しによる組織のスリム化							
総合評価	B	年度評価	22年度	C	23年度	B	24年度	B

番 号	32	区 分	早期課題	所 管 課	生涯学習課・政策推進課・総務課			
取 組 項 目	・地域づくりの核となる施設への転換							
目 標	・地区公民館とふれあいセンターの見直しを行うことにより、更なる地域づくりの核となる施設への機能転換を図る。							
取 組 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいセンターと地区公民館の機能統合について検討した。</li> <li>・業務棚卸を実施し、業務の洗い出しを行った。</li> <li>・公民館職員とふれあいセンター職員との連携を図った。</li> </ul>							
今 後 の 課 題	・課題解決型の事業展開							
総 合 評 価	C	年 度 評 価	22年度	C	23年度	B	24年度	B

番 号	33	区 分	中期課題	所 管 課	教育総務課			
取 組 項 目	・幼小中学校区の見直しと学校規模の適正化							
目 標	・進行する少子化に対応し教育効果を高めるために、幼小中学校の通学区域のあり方並びに学校施設統合の検討を行う。							
取 組 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校規模適正化について検討したが、行政区の見直しまで波及するため現時点では困難</li> <li>・指定校の変更申請による対応を行った。</li> </ul>							
今 後 の 課 題	・校区の見直しと施設の増改築							
総 合 評 価	C	年 度 評 価	22年度	D	23年度	C	24年度	C

番 号	34	区 分	早期課題	所 管 課	都市建設課・上下水道課・財政課など			
取 組 項 目	・契約検査体制の検討							
目 標	・一般競争入札、総合評価方式の導入拡大が、今後、求められている。事務量の増加が懸念され、効率化を図るため契約検査室（係）の検討を行う。							
取 組 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約検査室を都市建設課から独立した室に昇格させた。</li> <li>・総合評価方式の導入拡大を行った。</li> <li>・物品購入の入札契約業務を会計課から契約検査室に移管し、効率化を図った。</li> </ul>							
今 後 の 課 題	・入札契約事務の更なる一元化							
総 合 評 価	B	年 度 評 価	22年度	B	23年度	B	24年度	B

番 号	35	区 分	早期課題	所 管 課	政策推進課・農林水産課・生涯学習課など			
取 組 項 目	・豊岡地区の拠点施設の統合の検討							
目 標	・豊岡地区は旧出張所と地区公民館が別になっている。このため町民に不便をかけ事務等も非効率であるため、拠点の統合の検討を行う。							
取 組 実 績	・平成22年度末をもって、豊岡ふれあいセンター分館を閉館し、豊岡ふれあいセンターにその機能を統合した。							
今 後 の 課 題								
総 合 評 価	B	年 度 評 価	22年度	B	23年度	—	24年度	—

番 号	36	区 分	長期課題	所 管 課	総務課・政策推進課・住民課など			
取 組 項 目	・窓口業務の見直し							
目 標	・住民満足度の高い窓口業務となるよう、接遇や施設環境だけではなく職員配置や同一フロア化などの検討を行います。							
取 組 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合相談窓口を開設した。</li> <li>・年度切替時の休日窓口開設について他自治体の状況調査と関係課協議を行った。</li> <li>・総合窓口やワンストップサービスについて検討を行ったが、庁舎の形状等の問題から現時点では困難</li> </ul>							
今 後 の 課 題	・電算システム等による手続きの簡素化・効率化							
総 合 評 価	B	年 度 評 価	22年度	B	23年度	C	24年度	B

#### イ) 民間活力の有効活用

番 号	37	区 分	長期課題	所 管 課	教育総務課			
取 組 項 目	・給食運営のあり方の検討							
目 標	・豊かで安心な学校給食を児童などに提供するため、学校給食運営に民間のノウハウや経験などの活用を含め、これまで以上に「食育」「食材」を考慮し、学校給食の改善、充実を目指す。							
取 組 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部業務の民間委託について検討を行った（H25年度9月から実施）。</li> <li>・学校給食センター建設検討委員会を設置した。</li> </ul>							
今 後 の 課 題	・センターの建替							
総 合 評 価	B	年 度 評 価	22年度	B	23年度	C	24年度	B

番号	38	区分	早期課題	所管課	生涯学習課			
取組項目	・機能的な図書館業務の検討							
目標	・図書館機能を十分発揮できるよう資料の収集、整理、保存、提供及び情報サービスの充実・向上を図るとともに、住民の高度で多様な要求に適切に応えるよう努めるために、窓口業務などのあり方を検討する。							
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせや手づくり絵本教室を開催した。</li> <li>・4歳児健診時に絵本の読み聞かせ方法等について保護者にアドバイスを行った。</li> <li>・利用頻度の高い蔵書を優先的的配置や閲覧スペースの工夫を行うなど充実に努めた。</li> <li>・県立図書館等との相互貸借を活用し、利用頻度の低い蔵書への要望にも対応した。</li> </ul>							
今後の課題	・蔵書スペースの確保							
総合評価	B	年度評価	22年度	A	23年度	B	24年度	B

番号	39	区分	早期課題	所管課	上下水道課			
取組項目	・処理場・浄水場の維持管理委託の検討							
目標	・施設の耐震性や施設機能（電気・機械設備）の老朽化問題などの阻害要因があるため、費用対効果を検討しながら維持管理業務の委託を検討する。また、今後とも安全で安定した水の供給及び下水処理による水質保全と生活環境の更なる改善に努める。							
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上下水道施設の維持管理を包括的委託方式とし、経営コストの削減を行った。</li> <li>・設備の健全度、耐震性の調査を実施した。</li> <li>・長寿命化計画を策定した。</li> </ul>							
今後の課題	・機器の更新と委託業務のチェック							
総合評価	B	年度評価	22年度	B	23年度	B	24年度	B

番号	40	区分	早期課題	所管課	農林水産課・税務課			
取組項目	・効率的な地籍調査業務の検討と活用							
目標	・業務の効率化を図り進捗率を向上させるため、地籍調査の実績などを重視して業務の委託をすすめ、調査終了地区においては、課税の適正化においても調査成果の活用を検討する。							
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地調査を外部委託することにより、経費の節減と進捗率の向上を図った。</li> <li>・数値情報化を実施した。</li> <li>・現時点における全地区終了前の課税への活用は困難</li> </ul>							
今後の課題	・進捗率の向上							
総合評価	A	年度評価	22年度	B	23年度	B	24年度	A

## 5. 定員管理と給与のあり方

### ア) 定員管理の適正化

番 号	41	区 分	長期課題	所 管 課	総 務 課			
取 組 項 目	・「定員適正化計画」の策定・管理							
目 標	・社会情勢や権限委譲など、行政需要の変化に迅速かつ的確に対応するため、単年度ごとの適正な定員管理を行う。また、定年退職者及び中途退職者の補充については、新規採用を計画的に実施し、職員構成年齢の是正にも努める。							
取 組 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単年度ごとの採用計画を策定し、適正な定員管理を行った。</li> <li>・課長ヒアリングを実施し、採用計画に反映させた。</li> </ul>							
今 後 の 課 題	・定員管理の継続							
総 合 評 価	B	年 度 評 価	22年度	C	23年度	B	24年度	B

### イ) 適正な人員と職員配置

番 号	42	区 分	早期課題	所 管 課	総 務 課			
取 組 項 目	・職員の適正な配置							
目 標	・職員の個々の能力・資質や事務量に基づいた適材適所の職員配置に努め、職員が能力を発揮しやすい体制づくりを目指す。							
取 組 実 績	・課長ヒアリングを実施し、適材適所の職員配置に努めた。							
今 後 の 課 題	・職員の多能工化							
総 合 評 価	B	年 度 評 価	22年度	C	23年度	C	24年度	B

番 号	43	区 分	早期課題	所 管 課	総 務 課			
取 組 項 目	・非常勤・臨時職員の効果的な雇用							
目 標	・職員数の計画的な見直しに努めるなか、必要性について検討を行い、資格を有する優秀な非常勤・臨時職員を採用し、業務負担が多い部署への的確な配置運用に努める。							
取 組 実 績	・他市町村の雇用状況について情報収集を行った。 ・課長ヒアリング等により職場実態を把握し、実情に応じた任用を行った。							
今 後 の 課 題	・非常勤・臨時職員の弾力的運用							
総 合 評 価	B	年 度 評 価	22年度	C	23年度	C	24年度	B

番 号	44	区 分	中期課題	所 管 課	総 務 課			
取 組 項 目	・職員給与のあり方の検討							
目 標	・社会経済情勢の変化、地方公務員制度改革の動向や人事院勧告を踏まえ、町の実情に応じた給与制度のあり方について検討を行う。							
取 組 実 績	・賃金の5%カットを継続した。 ・級別構成の改善を行った。							
今 後 の 課 題	・給与制度の継続的な見直し							
総 合 評 価	B	年 度 評 価	22年度	C	23年度	B	24年度	B

番 号	45	区 分	中期課題	所 管 課	総 務 課			
取 組 項 目	・特別職の給料の検討							
目 標	・常勤特別職の給料については、特別職報酬等審議会において、その時々々の財政状況等を勘案しながら定期的な検討を行う。							
取 組 実 績	・特別職の報酬カットを継続した。							
今 後 の 課 題	・報酬制度の継続的な見直し							
総 合 評 価	B	年 度 評 価	22年度	C	23年度	C	24年度	B

番 号	46	区 分	早期課題	所 管 課	総 務 課			
取 組 項 目	・時間外勤務の検討							
目 標	・職員の長時間にわたる勤務を回避し、職業生活と家庭生活の調和を図り、豊かでゆとりある生活を実現するため、現状を分析し時間外勤務削減のために事務の効率化及び適正な人員配置などの方策を検討する。							
取 組 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課長ヒアリングを実施し、恒常的に時間外が多い職場を把握したうえで、指導を行った。</li> <li>・衛生委員会にて、超過勤務の多い職員に対する相談体制を検討した。</li> <li>・ノー残業デーを設定し、実施した。</li> </ul>							
今 後 の 課 題	・業務の効率化と平準化							
総 合 評 価	C	年 度 評 価	22年度	C	23年度	B	24年度	B

## 6. 職員の意識改革と人材育成

### ア) 求められる人材育成と能力開発

番 号	47	区 分	早期課題	所 管 課	総 務 課			
取 組 項 目	・人材育成基本方針の策定							
目 標	・町が求める職員像を明らかにし、これを実現するために職員が自発的に能力開発を進めることに加え、職員の意欲と能力を最大限に引き出すための組織的な取組みを定め、今後の人材育成の指針とする。							
取 組 実 績	・日出町人材育成基本方針（案）について協議を進めている。							
今 後 の 課 題	・人材育成基本方針に基づく人材育成							
総 合 評 価	C	年 度 評 価	22年度	C	23年度	C	24年度	C

番 号	48	区 分	早期課題	所 管 課	総 務 課			
取 組 項 目	・ 研修制度の充実（派遣・自己・専門研修等）							
目 標	・ 職員の意識改革を図りながら、個人の自主性と責任において積極的に受講するシステムとして進め、公務員として更なる知識や技術習得を図るため、身近な職場研修や研修機関及び企業への派遣などへ積極的に取り組む。							
取 組 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (財)大分県市町村職員研修センターの研修及び町独自において階層別研修を実施した。</li> <li>・ 若手職員には、研修成果を町幹部への発表の機会を設定した。</li> <li>・ 民間派遣研修受講者の成果発表を若手職員に対して行った。</li> <li>・ 職員の資格取得助成制度を創設した。</li> </ul>							
今後の課題	・ 研修成果の還元							
総合評価	B	年度評価	22年度	B	23年度	B	24年度	A

#### イ) 職員の意識改革

番 号	49	区 分	早期課題	所 管 課	総 務 課・政策推進課			
取 組 項 目	・ 職員提案制度の充実							
目 標	・ 職員が自由に提案できる職場づくりと職員の改革意識の定着化と創造的能力の向上を図り、改革のための提案を町の事業に反映させる。また、提案を受け入れることができる職場づくりや提案内容の検討の充実や受け入れた提案を実行できる制度の確立を図る。							
取 組 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員提案制度の要綱を改正し、募集を実施した。</li> <li>・ 職員提案審査委員会において優秀提案を選定し、実行委員会において検討した。</li> </ul>							
今後の課題	・ 組織風土の醸成							
総合評価	C	年度評価	22年度	B	23年度	B	24年度	C

番 号	50	区 分	早期課題	所 管 課	総 務 課			
取 組 項 目	・ 地域貢献活動への積極的参加							
目 標	・ 常に、公務員であり地域の一員であるという意識を持ち、地域活動などに積極的に参加し、町民との情報交換や交流を図るとともに、自主的・主体的に美化活動や花いっぱい運動などにも取り組むことで、職員各々の意識の向上を図る。							
取 組 実 績	・ 地域貢献型研修について検討し、予算化した（H25年度実施予定）。							
今後の課題	・ 職員の更なる意識改革							
総合評価	C	年度評価	22年度	C	23年度	C	24年度	B

番 号	51	区 分	早期課題	所 管 課	総 務 課			
取 組 項 目	・町長などとのコミュニケーションの機会の設定							
目 標	・町長など一般職員とのコミュニケーションの機会を設定することで、職員各々が行政課題や将来展望などの目的を共有することにより、新しいまちづくりを目指す。このことにより職員間の相互理解も深まり、組織が一丸となった行政運営と意識の改革を推進する。							
取 組 実 績	・新採用職員をはじめ、様々なコミュニケーションの機会を設定し、実施した。							
今 後 の 課 題	・階層別懇談会の開催							
総 合 評 価	B	年 度 評 価	22年度	C	23年度	B	24年度	B